

編 集 後 記

グローバリゼーションは、かつて暗黒大陸と言われたアフリカや、熱帯のジャングルを抱えた南米をも変貌させ、世界経済の地図を大きく変えつつある。温暖化とともにグローバルな経済危機など予断を許さない状況で、医療・医学は、確実な歩みをしている。

不治の病と言われていた認知症の治療・予防もワクチン療法や抗モノクロナール抗体療法によって現実のものとなりつつある。また女性を脅かしてきた子宮頸癌の原因ウイルスが同定され、ワクチンで予防できる時代が到来した。^{オンコジーン}癌 遺伝子研究の成果でもある。その福音を享受できる時代の到来は、暗い話題ばかりの世の中で数少ない朗報の一つだ。

移植医療の進歩も目覚ましいが、臓器移植ビジネスが暗黒街の資金源となっている現実を見ない訳にはいかない。100年分の年収になる臓器売買を厭わない最貧国の人々の生きざまの裏返しでもある。格差医療や経済格差は、狭い日本だけをみていては本質を見失う。

ところでブレインサイエンスは、疼痛、不安、恐怖などの病態を明らかにして、治療薬の開発も進展しているが、しびれについては未開拓である。しびれを訴えても、「命に別条ないから気にするな」と主治医に云われて落胆している患者さんが多い。しびれの治療法の開発も切望されている。

患者さんに光明をもたらし、医療の明日を展望できる論文を本誌は追求し続けている。自然の摂理に抗し救命や延命を追究してきた医学・医療も、緩和ケアのなど、抗しきれない病勢という現実との妥協路線も取り、より柔軟になってきている。

しびれるような論文の投稿を期待している。

[粥川 裕平]

編 集 委 員 (50音順 *印委員長)

池 山 淳	粥 川 裕 平	杉 藤 徹 志*
高 橋 英 世	松 本 美 富 士	山 本 武 司

明日の臨床

Vol.22 No.1

2010年6月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

頒価 1,000円・発行部数 7,000部